

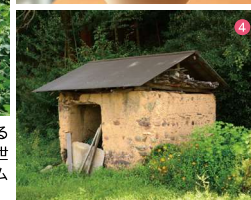
兵庫県丹波篠山地域

300年続く黒大豆の郷で 田園風景と伝統文化を楽しむ旅

日本農業遺産

「丹波篠山の黒大豆栽培・300年の歴史」

兵庫県丹波篠山市は、日本有数の黒大豆の名産地。その歴史は300年以上前にさかのぼります。この地域は雨が少なく、水不足に悩まされていたことから、稲を植えない「犠牲田」を設け、そこで黒大豆を栽培するようになりました。畝を高くすることで土を乾燥させて畑作を可能にし、灰屋（はんや）と呼ばれる小屋で木の枝やわらなどを土と重ねて焼き、その灰を肥料にして自然資源を循環させてきました。市内には今も約260の灰屋が残されています。



①丹波たぶち農場の黒大豆の畑。秋の収穫期は黒大豆を買いに訪れる人で賑わう②兵庫県丹波地方発祥の品種「丹波黒」。黒大豆としては世界最大級の大きさを誇る③小田垣豆堂の黒豆きなこのソフトクリームパフェ④市内に点在する灰屋。昔ながらの農村風景を伝えている

1日目

JR篠山口駅 (JR宝塚線・福知山線)

篠山口駅東口サイクルポート、篠山観光案内所には市内観光に便利なレンタサイクルがあります。詳しくはこちら→



▼ 車で約9分



丹波たぶち農場

7～8月に行われるファームツアーでは、伝統農法が生まれた理由やブランド豆「丹波黒」のおいしさの秘密を学べるほか、夏枝豆の収穫体験、試食ができます。10月上旬から11月上旬は黒枝豆狩り体験ができます。

住所：兵庫県丹波篠山市口阪本158-3
電話：090-8650-0415



▼ 車で約4分



ヘリテージフットパス

のどかな里山をめぐる、約1時間の周回散歩路。地元ガイドの案内で見学が可能です（詳細は要問合せ）。電線や電信柱が見えない昔ながらの田園風景や、肥料づくりのための灰屋が10軒ほど残っており、伝統農法を今に伝えています。

住所：兵庫県丹波篠山市大野・矢代周辺
電話：079-552-1114（丹波篠山市農政政策課）

▼ 車で約10分



篠山城跡・篠山城大書院

篠山城は江戸初期に徳川家康の命で築かれました。その中核となった大書院は、一大名の書院としては破格の規模と建築様式を誇ります。館内には篠山城の歴史が展示され、甲冑（かっちゅう）、打掛の着付け体験もできます。

住所：兵庫県丹波篠山市北新町2-3
電話：079-552-4500



▼ 車で約15分



宿泊 集落丸山

山裾に広がる丸山集落にある一棟貸しの古民家宿泊施設。元の間取りを残しながらモダンで使いやすく改装されています。朝は集落の方が台所に来て、炊き立てのご飯や地元の食材を使った朝食を用意してくれます。

住所：兵庫県丹波篠山市丸山30
電話：079-506-0243



2日目

集落丸山

▼ 車で約13分



丹波篠山市立歴史美術館

かつての裁判所を改装した美術館。木造建築の裁判所としては国内最古級で市文化財に指定されています。旧法廷が見学できるほか、武具や美術品などを展示。篠山藩窯王地山焼の箸置きや勾玉を作る体験もできます。

住所：兵庫県丹波篠山市呉服町53
電話：079-552-0601



▼ 徒歩約14分



河原町妻入商家群

篠山藩の商業の中心地として栄えたエリア。江戸時代の城下町の姿を今に伝える町並みは、国の重要伝統的建造物群保存地区に選ばれています。歴史ある商店のほか、カフェや雑貨店もあり散歩が楽しい通りです。

住所：兵庫県丹波篠山市河原町
電話：079-552-3380（篠山観光案内所）



▼ 徒歩約1分



小田垣商店

創業290年を誇る老舗黒豆専門店。明治時代には農家に黒大豆の種を販売し、生産物を買って全国に販売し「大玉丹波黒大豆」の名を広めました。館内のカフェ「小田垣豆堂」では黒豆のスイーツも楽しめます。

住所：兵庫県丹波篠山市立町19
電話：079-552-0011



▼ 車で約12分

JR篠山口駅

大阪からのアクセス

鉄道をご利用の場合

JR大阪駅

JR宝塚線・福知山線で約1時間

JR篠山口駅

自動車をご利用の場合

大阪方面

中国自動車道、舞鶴若狭自動車道 約1時間

丹波篠山口I.C.